

2002年度 日本プランクトン学会大会プログラム

期日: 2002年9月28日(土)~29日(日)

場所: 北海道大学水産学部キャンパス 〒041-8611 函館市港町3-1-1

事務局: 北海道大学水産学部 多様性生物学講座(プランクトン)

Tel: 0138-40-5543 (5541 もしくは 5542)、Fax: 0138-40-5542

大会行事日程表

9月28日	10:00~	大会参加受付	講義棟
	13:00~18:30	口頭発表(1~22)	講義棟7番教室
	18:30~20:00	懇親会	厚生会館
9月29日	8:30~12:00	口頭発表(23~36)	講義棟7番教室
	13:00~18:30	口頭発表(37~60)	講義棟7番教室

懇親会終了後に大会会場からスパビーチ(海王館)までのバスが出ます。

また、29日朝にもスパビーチ 大会会場へのバスが出ます(無料)。

空港、駅前から会場までのアクセスは大会関連案内図とバス時刻表を参照してください。

大会参加費

大会参加費として受付時に下記の金額をご用意ください。

	大会参加費	懇親会費
会員	1500	4000
非会員	2000	4000
学生 (会員・非会員とも)	1000	2000

宿泊斡旋先のスパビーチ(海王館)への料金は直接ホテルフロントへお支払いください。

参加者・研究発表者へのお願い

1. 参加者は必ず受付で大会参加の受付けをしてください。
2. 研究発表の講演時間は、講演 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分です。講演は必ず 12 分で終了するように講演内容、OHP などを用意してください。10 分経過で第 1 鈴、12 分経過で第 2 鈴が鳴ります。その後、質疑応答時間は 3 分です。15 分経過で最終鈴が鳴ります。
3. 液晶プロジェクターを使用される方のために、講演会場にノートパソコン 2 台を用意します。2 台とは : Windows 98-Powerpoint 2000、 : Macintosh OS9.1-Powerpoint 2001 です。上記 2 バージョンいずれかの発表ファイルを CD-R に焼いてご持参ください。他のバージョンをご使用の方は上記 2 バージョンで作成し直すか、ご自分のノートパソコンをご持参ください。また、ノートパソコンを持参される場合はあらかじめその旨を事務局までメールでご連絡ください(事務局 e-mai: a-yama@fish.hokudai.ac.jp)。

座長へのお願い

1. 担当セッションの開始前には必ず会場にお入りください。
2. 講演時間を厳守するよう、セッションの進行をお願いします。

日本プランクトン学会大会プログラム

9月28日(土)

座長：西川 淳(東大海洋研)

13:00

1. 淡水産枝角類 *Daphnia magna* に及ぼす内分泌攪乱化学物質の影響評価
後藤 崇・広海十朗(日大院生物資源)

13:15

2. オオミジンコにおける効率的な雄の産出方法の検討
雑賀 修(日本曹達(株))

13:30

3. 低水温条件下におけるノリの色落ち原因藻 *Eucampia zodiacus* の光強度に対する増殖応答
西川哲也(兵庫水技セ)

13:45

4. 浮游性バクテリアのC:N:P ストイキオメトリー
牧野渡(京大生態学センター)・James B. Cotner (Univ. Minnesota)

14:00

5. 単性生殖シオミズツボウムシ *Brachionus plicatilis* の生い立ち
平田八郎(近畿大)

座長：今井一郎(京大院農)

14:15

6. 有明海産珪藻 *Rhizosolenia setigera* に感染するウイルスに関する研究 - 1. RsV (*Rhizosolenia setigera* virus) の基本性状
長崎慶三(瀬戸内水研)・片野坂徳章(エス・ディー・エス・バイオテック(株))・外丸裕司(学振・科技特)・板倉 茂(瀬戸内水研)・廣田健一郎(佐賀県有明水産振興センター)・山口峰生(瀬戸内水研)

14:30

7. 二枚貝へい死原因藻 *Heterocapsa circularisquama* を宿主とするウイルスに関する研究 - 11. 底泥中におけるウイルスの動態について
長崎慶三(瀬戸内水研)・片野坂徳章(エス・ディー・エス・バイオテック(株))・外丸裕司(学振・科技特)・中西克之(三重県科技セ総)・

畑 直亜 (三重県科技セ水)・山口峰生 (瀬戸内水研)

14:45

8. 二枚貝へい死原因藻 *Heterocapsa circularisquama* を宿主とするウイルスに関する研究 - 12. ウイルスの分布と赤潮終息への関与

外丸裕司 (学振・科技特)・長崎慶三 (瀬戸内水研)・西川哲也・堀 豊
(兵庫水技セ)・石川 徹 (高知水試)・日比野憲治 (福井嶺南振興局)・
棚田教生 (徳島農林水産総技セ水研)・越智洋雅 (香川赤潮研究所)・吉
村直晃 (熊本水研セ)・山口峰生 (瀬戸内水研)

15:00

9. 二枚貝へい死原因藻 *Heterocapsa circularisquama* を宿主とするウイルスに関する研究 - 13. HcV および HcSV の感染特異性について

片野坂徳章 (エス・ディー・エス・バイオテック (株))・外丸裕司 (学
振・科技特)・長崎慶三 (瀬戸内水研)・中西克之 (三重県科技セ総)・
畑 直亜・増田 健 (三重県科技セ水)・山口峰生 (瀬戸内水研)

座長：長崎慶三 (瀬戸内水研)

15:15

10. 藻場における豊富な殺藻細菌の存在：赤潮予防の可能性

今井一郎・西垣友和・岡本 悟 (京大院農)・竹内照文 (和歌山水試)・
山本圭吾 (大阪水試)・平田八郎 (近畿大農)

15:30

11. 北海道トーサムボロ沼における海水および底泥中の ELISA 法を用いた下痢性貝毒のモニタリング

山口史朗・白鳥法子 (京大院農)・嶋田 宏 (北海道中央水試)・宮崎
義弘 (根室地区水産技術普及指導所)・濱野米一 (大阪府公衆衛生研)・
今井一郎 (京大院農)

15:45

12. 日向灘における原核緑藻類の分布と現存量

伊集院涼子・ 浜崎恒二 (広大院生物圏科学)

16:00

13. プランクトン観察におけるデジタルカメラの活用事例

奥 修 (学振・科技特-産総研)

座長：奥 修（学振・科技特-産総研）

16:15

14. 諫早湾における赤潮原因プランクトンの最近の変化

松岡數充（長崎大水産）

16:30

15. JODC 海洋生物コード（プランクトン）2001年版

千葉 毅・豊嶋 茂（日本海洋データセンター）・土屋知人（パスコ）・橋詰和慶（環境研）

16:45

16. 宇和海沿岸における珪藻類休眠期細胞の分布

山下亜純・小泉喜嗣（愛媛水試）

17:00

17. 西日本海域に出現する有害渦鞭毛藻 *Heterocapsa circularisquama* の増殖特性と RFLP 解析結果の類似性

山口峰生・板倉 茂・長崎慶三・濱口昌巳・松山幸彦（瀬戸内水研）・吉松定昭（香川赤潮研）・内田卓志（北水研）

座長：山口峰生（瀬戸内水研）

17:15

18. 可視励起光を用いた有殻渦鞭毛藻鎧板の蛍光顕微鏡観察

吉田 誠・岩滝光儀・松岡數充（長崎大水産）

17:30

19. 松島湾における珪藻類群集と底泥中の発芽可能細胞の季節消長

一宮睦雄・谷口旭（東北大院農）

17:45

20. 陸奥湾におけるヒラメ仔魚の摂餌生態

長谷川 藍・高津哲也（北大院水産）

18:00

21. 相模湾沿岸域における一次生産の栄養塩律速

藤木徹一・戸田龍樹・宮口英夫・田口 哲（創価大工）・青野英樹・菊池知彦（横浜国大教育人間科学）

18:15

22. 海洋深層水での珪藻 *Skeletonema costatum* と *Chaetoceros curvisetus* の種間相互作用

宮崎義久 (東海大海洋)・中島敏光 (JAMSTEC/東海大海洋)・久保田正 (東海大海洋)

18:30-20:30 懇親会

9月29日(日)

座長：吉田 誠 (長崎大水産)

8:30

23. 夜光虫大発生がプランクトン食物連鎖構造に及ぼすインパクトは大きい
か? - 播磨灘家島諸島海域を例として -

平田敦洋 (日大院生物資源)・中村泰男 (国立環境研)・広海十朗 (日大院生物資源)

8:45

24. 共生藻を持つ *Noctiluca scintillans* の生活環

齊藤春奈 (東大院農学生命)・Thaithaworn Lirdwitayaprasit (Chulalongkorn Univ.)・古谷 研 (東大院農学生命)

9:00

25. 2001年石狩湾における植物プランクトン種組成の季節変化

嶋田 宏・浅見大樹・小鳥守之 (道立中央水試)・大澤賢人 (道立地質研)

9:15

26. 石狩湾におけるかいあし類の季節的消長 1. *Metridia pacifica*

浅見大樹・嶋田 宏・小鳥守之 (道立中央水試)・大澤賢人 (道立地質研)

9:30

27. 北海道石狩湾の毛顎動物相の季節変動

小鳥守之・浅見大樹・嶋田 宏 (道立中央水試)

座長：三宅裕志 (海洋科学技術センター)

9:45

28. 東京湾湾奥部におけるオベリアクラゲの出現機構

喜多村 稔・西尾奈津子・田中祐志・石丸隆（東水大）

10:00

29. 和歌山県田辺湾におけるヒドロクラゲ類の水平分布の季節変動とその生活史型の関係

河村 真理子・白山義久・久保田 信（京大瀬戸臨海実験所）

10:15

30. 瀬戸内海におけるミズクラゲの出現と生態系に与える影響

青山昌史・上 真一（広大院生物圏科学）

10:30

31. 東京湾におけるミズクラゲ (*Aurelia aurita*) の生涯産卵数

加賀美 仁・石井晴人（東水大）

10:45

32. ミズクラゲ(*Aurelia aurita*)の口腕上におけるプラヌラ幼生の発達時間

石井晴人・高木愛（東水大）

座長：志賀直信（北大院水産）

11:00

33. ミズクラゲエフィラ幼生の東京湾における摂餌生態

田中優平・石井晴人（東水大）

11:15

34. 駿河湾妻良沖に出現したアマガサクラゲ *Parumbrosa polylobata*

三宅裕志・Dhugal J. Lindsay（海洋科学技術センター）・喜多村 稔（東水大）・西田周平（東大海洋研）

11:30

35. 富山湾におけるイワシ類仔魚餌料としてのカイアシ類ノープリウス幼生の季節変動

高橋 卓（（財）上越環境科学センター）・内山 勇（富山水試）・平川和正（養殖研）

11:45

36. Continuous Plankton Recorder Survey of the Southern Ocean

Hosie, G. W. (AIMS), M. Fukuchi (NIPR) and S. Kawaguchi (NIFS)

12:00-13:00 昼 食

座長：井口直樹（日水研）

13:00

37. 噴火湾におけるソウハチ仔魚の時空間分布

栗藤亜希子・高津哲也・伊村一雄（北大院水産）

13:15

38. 陸奥湾におけるイカナゴ仔魚の摂餌生態と相対成長

南條暢聡・伊村一雄・高津哲也（北大院水産）

13:30

39. ツノナシオキアミの昼夜鉛直移動は脱皮周期と成熟度によってどう影響されるか

遠藤宜成・山野 史（東北大院農）

13:45

40. 東京湾における *Oikopleura dioica*（尾虫目，オタマボヤ科）群集の生産速度

佐藤 力（LUMCON）・石橋幸子・田中祐志・石丸 隆（東水大）

座長：小針 統（鹿大水産）

14:00

41. カイアシ類の珪藻専食が産卵・孵化におよぼす影響

中村泰男（国立環境研）・A. Ianora（ナポリ臨海実験所）

14:15

42. 初夏の大槌湾における優占橈脚類種の摂餌

塩谷 剛・上 真一（広大院生物圏科学）・長野直樹（宮大農）・大林由美子（名大水圏研）

14:30

43. 瀬戸内海中部砂泥海岸におけるアミ類の出現と浅海性魚類による捕食

花村幸生・松岡正信（瀬戸内水研）

14:45

44. 台風通過に伴う動物プランクトン組成の変化

澤本彰三・宮代 顕（東海大海洋）

座長：佐藤 力 (LUMCON)

15:00

45. 厚岸湖における動物プランクトン群集の季節変化

小川千春 (東水大)・志賀直信 (北大)・武山 悟・加藤元一 (厚岸町
カキ種苗センター)

15:15

46. 紀伊水道における動物プランクトンの季節変動: bottom intrusion の影響

尾崎浩司 (学振・科技特-広大)・上 真一 (広大院生物圏科学)・楠本
輝一・荻野鉄男 (徳島水試)

15:30

47. 浮游性被嚢類の「被嚢」観察

西川 淳 (東大海洋研)・広瀬裕一 (琉球大理)・木村 聡 (森林総研)

15:45

48. 西部北太平洋における繊毛虫の分布と分類群組成

太田尚志・谷口 旭 (東北大院農)

座長：荒 功一 (日大院生物資源)

16:00

49. 黒潮表層に浮遊する微小プラスチック粒子の分布量

山下 麗・谷村 篤 (三重大生物資源)・小城春雄 (北大院水産)

16:15

50. 北太平洋北西部における廃棄プラスチック微小粒子の分布

小城春雄・福本由利・目黒敏美・山口秀一・梶原善之・亀井佳彦・坂
岡桂一郎・小林直人 (北大院水産)

16:30

51. 北太平洋亜寒帯域における植食性カイアシ類の生活史の地理的変動

小針統 (鹿大水産)・津田 敦 (北水研)・齊藤宏明 (東北水研)・田
所和明 (地球フロンティア)・塩本明弘 (遠洋水研)・橋本慎二 (名大水
循環セ)

16:45

52. 伊豆・小笠原諸島海域におけるヨコエビ類 (端脚類) の 1 種 *Eusiroopsis
spinidorsalis* GAMO の分布

澤本彰三（東海大海洋研）

座長：遠藤宜成（東北大院農）

17:00

53. 深海への物質移動と Myctophids の生体成分: カイアシの生体内脂質の影響
齋藤洋昭（中央水研） 小谷祐一（瀬戸内海区水研）

17:15

54. 日本海におけるオキアミ類 *Thysanoessa longipes* の成長，産卵時期と昼夜鉛直分布
井口直樹（日水研）

17:30

55. 日本海のオキアミ類における鉍油成分の蓄積
森本晴之・井口直樹・木所英昭（日水研）・長谷川誠三（北水研）・立石晶浩（日本冷凍食品検査協会）

17:45

56. 親潮域におけるオキアミ類幼生の出現量と鉛直分布の季節変化
岡崎健作・池田 勉（北大院水産）

座長：尾崎浩司（学振・科技特-広大）

18:00

57. 親潮海域におけるオンケア科カイアシ類の現存量と鉛直分布
西部裕一郎・池田 勉（北大院水産）

18:15

58. かいあし類 *Neocalanus cristatus* C5 の休眠個体の代謝速度と体化学成分
池田 勉（北大院水産）

18:30

59. 親潮域における浮遊性貝虫類 *Discoconchoecia pseudodiscophora*,
Orthoconchoecia haddoni および *Metaconchoecia skogsbergi* の代謝活性
帰山秀樹・池田 勉（北大院水産）

18:45

60. 西部北太平洋において優占する浮遊性端脚類4種の代謝活性と体化学成分
山田雄一郎（東大海洋研）・池田 勉（北大院水産）